

沖電気工業株式会社 広報室

〒108-8551 東京都港区芝浦4-10-16

<https://www.oki.com/jp/>

## 企業理念の再制定および新経営計画（骨子）の策定

OKIは、新たに「OKIグループが共有する企業理念」を再制定し、2026年度から始まる新経営計画の骨子を発表しました。

新年度から新経営計画をスタートするにあたり、社会や産業の枠組みが大きく変わる中、「なぜOKIグループが存在するのか」という本質的な価値を社会と共有し、未来をリードするという思いから、企業理念を再制定しました。これにより、当社の志を組織全体に深く根付かせ、中長期的な成長と変革を実現してまいります。

### 1. 企業理念の再制定

OKIグループは、新経営計画を遂行するため、企業理念をPurpose、Vision、Value、およびOKI Spiritの4つに整理し、再制定しました。

Purpose	進取の精神をもって、社会の大丈夫を創っていく。
Vision	人と技術で価値を創造する「未来デザイナー」となる。
Value	誠実 <sup>+</sup>
OKI Spirit	『自己の運命を開拓せん』

### 企業理念

・Purpose: 「進取の精神をもって、社会の大丈夫を創っていく。」

創業者である沖 牙太郎の言葉と、これまでの企業理念に含まれる「進取の精神」と、キーメッセージである「社会の大丈夫をつくっていく。」を踏まえ、「OKIグループが社会に存在する意義」を示す。

・Vision: 人と技術で価値を創造する「未来デザイナー」となる。

変化を先取りして課題に向き合い、新たな価値創造に挑む企業グループへ進化することを目指す。

・Value: 誠実<sup>+</sup>

OKIグループが大切にしてきた価値観である「誠実」に加え、社会全体の視点で自ら考え行動する姿勢を示す。

・OKI Spirit: 「自己の運命を開拓せん」

常に立ち返る変革のマインドセットとして、自ら決め、自ら動くことで道を切り拓く姿勢を企業文化とする。

## 2. 新経営計画の骨子

「新経営計画」は 2026 年度から 2031 年度の 6 年間の計画で、テーマは知的資本経営の実践です。前半 3 年は事業成長と更なる構造改革を同時に進め、成長基盤を強固にする期間とし、後半 3 年は、その土台を活かして成果を出す期間と位置付けて変革を進めます。

### 【知的資本経営の実践のポイント】

価値創造モデル : OKI 独自の知的資本を強化し、社会価値を創出します。

事業戦略 : コア事業の革新と、高成長市場への挑戦を推進します。

経営システム改革 : 「未来デザイナー」へ進化するための、社内変革基盤を構築します。

人財投資 : 価値創造モデルを駆動させる起点として、人的資本へ積極的に投資します。

### 【2031 年度目標】

- ・格付 A
- ・売上高 6,000 億円以上
- ・営業利益率 7%以上
- ・ROE 10%以上
- ・自己資本比率 40%以上
- ・配当性向 35%以上

また、新経営計画の詳細は 2026 年 5 月以降に公表を予定しています。

### 【リリース関連リンク】

OKI グループ 新経営計画(骨子) 説明資料:

[https://www.oki.com/global/ja/ir/assets\\_c/uploads/260305.pdf](https://www.oki.com/global/ja/ir/assets_c/uploads/260305.pdf)

企業理念 : <https://www.oki.com/global/ja/profile/spirit/index.html>

- 沖電気工業株式会社は通称を OKI とします。
- その他、本文に記載されている会社名、商品名は一般に各社の商標または登録商標です。

----- 本件に関する報道機関からのお問い合わせ先 -----  
広報室

お問い合わせフォーム URL : <https://www.oki.com/cgi-bin/inquiryForm.cgi?p=015j>